

第2学年国語科学習指導案

単元名 意見文を書こう

- 教材 1 新聞投稿記事（実際に新聞に掲載された中学生の投稿記事）
「佐賀新聞」日曜版「中学生の意見」のような特集から入手しやすい。
- 2 「根拠を明らかにして書こう 意見を伝える」(光村図書「国語2」)
- 3 投稿記事モデルA～F（授業提案者作成資料）
- 4 「モアイは語る 地球の未来」安田喜憲（光村図書「国語2」）
- 5 「読書活動 情報を検索する」(光村図書「国語2」P156)

1 単元について

佐賀県の中学2年生の実態として、平成21年度4月の佐賀県小・中学校学習状況調査において「読むこと」「書くこと」「言語事項」の2領域1事項に課題が見られたが、「書くこと」では「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことに課題があると言える。また、「読むこと」では「展開を押さえ正確に理解し、ものの見方をとらえる」こと、および「言語事項(2)イ」、「漢字(特に訓読みで用いられる漢字)を書くこと」も同様である。本授業提案は前述の「書くこと」における課題を抱える生徒を対象としたものである。説明的文章の「読むこと」の学習を終え、事実と考察を区別して読み取る力が身に付き、説明的文章を読むことに対する意欲や、知識・技能が高まっていると思われる時期に設定することとした。本単元では、これを生かして、意見文の書き方を比べ読みにより学び取らせ、「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことについて課題の解決を図りたい。

本単元は、新聞の投稿記事を主教材として投稿記事を書くという言語活動を位置付け、意見文の書き方を学ぶ単元である。課題の設定、題材の活用、叙述の仕方、構成の仕方などの異なる数種類の投稿記事モデル（または適切な投稿記事）を、意見文の書き方のポイントを学ぶ取る比べ読み教材としたい。また、生徒の課題意識を触発させるような論説文「モアイは語る 地球の未来」を配置し、併せて、相手や条件（様式、字数）に応じて書き方を変える必要があることを学び取らせる比べ読み教材とする。情報の収集に当たっては、図書資料やインターネット資料を活用し、図書資料の検索という情報収集の方法も学ばせる機会としたい。

本単元には、「書くこと」の力を身に付けさせるために、新学習指導要領「B書くこと」の(2)に位置付けられている言語活動例の「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと」を取り入れた。単元を通して言語活動に取り組みさせることで、生徒の主体的な学習活動を促し、活動を通して知識・技能が習得できるように指導したい。また、生徒が書いた新聞投稿記事を実際に投稿させることで、生徒に社会参画の方途を知らせ、身に付けた知識・技能を活用することに対する意欲をもたせたい。

2 単元の指導目標

- (1) 環境問題や食糧問題などの社会生活にかかわる課題をもたせ、必要な情報を収集・整理し、取捨選択して自分の意見を作り、意見文を書いて新聞に投稿しようとする意欲をもたせる。
- (2) 目的や条件に応じて、意見や立場、根拠を明確にし、分かりやすい構成で意見文を書くことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 自分で設定した課題について情報を集め、立場を明らかにして意見文を書こうとしている。 【B 書くこと(1)ア,イ,ウ】
イ 書く能力	1 意見や根拠を明らかにし、分かりやすい構成で意見文を書いている。 【B 書くこと(1)ア,イ,ウ,エ】 2 書いた文章を互いに読み合い、構成の仕方や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。 【B 書くこと(1)オ】
ウ 読む能力	1 文章の表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 【C 読むこと(1)ウ】 2 目的をもってさまざまな文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てている。 【C 読むこと(1)オ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 相手や目的に応じて文章の形態や文章表現の違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ)】

4 指導と評価の計画(全8時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 新聞の投稿記事を読んで新聞投稿に関心・意欲をもつ。 2 投稿記事モデルを比べ読みし、「説得力のある意見文の書き方のポイント」を考える。	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 比べ読みの仕方を確認させ、個別に随時指導する。	ウ-1【話合いの観察・ワークシートの記述分析】
	2	3 「モアイは語る」と投稿記事モデルC、Fを比べ読みし、相手や目的、条件等に応じて書き方が異なることに気付く。 4 学習課題を設定し、学習計画を立てる。	比べ読みをすることにより、同じ事実を述べるのにも、目的や条件に応じて表現の仕方が異なることに気付かせる。 学習計画を立てる際には、モデルを示すなど丁寧な指導を心掛ける。	エ-1【話合いの観察・ワークシートの記述分析】
二	3	5 モデル学習をし、意見文を書く手順を知る。 6 設定した課題について、図書検索やインターネットを利用して情報を集める。	引用した文章の書かれている図書を提示する。 参考資料や参考図書を明確にするよう指導する。	ア-1【調べる様子の観察・ワークシートの記述分析】 ウ-2【調べる様子の観察・ワークシートの記述分析】
	4	7 集めた情報を基に自分の意見を明らかにする。 8 構成法を考えて意見文を構成する。	どの情報を選び取るのかを考えさせる。 学習の手引きを利用させる。	ア-1【ワークシートの記述分析】
	5	9 意見文を書く。	意見文を書く際に、学習計画表に記載しているポイントを参照するよう助言する。	イ-1【ワークシートの記述分析】
	6	10 書いた意見文を推敲して、原稿用紙に清書する。	学習の手引きを利用させる。	
三	7	11 グループで意見文を読み合い、評価し合う。	評価の観点に従って相互評価をさせる。	ウ-2【話合いの観察・評価表の記述分析】
	8	12 各グループの代表者が発表し、意見を交流し合い、学習のまとめをする。	学習を振り返らせ、何を学んだかを確認させる。	

5 - 1 1 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 比べ読みの仕方を確認させる。(既習事項の確認)
- ・ 教材文を比べ読みさせ、投稿記事(意見文)の書き方のポイントを帰納させる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 比べ読みの仕方と効果確かめる。	数種類の付せん,分類台紙 補助資料	比較と分類の仕方と効果を認識させるために,数枚の付せんを形と色の違いで分類する活動をさせる。	ウ-1 比べ読みの仕方と効果について認識している。 【話合いの観察】
展開	2 本時の目標を知る。	教材1 教材2	教材1で生徒の関心を,教材2で意欲をそれぞれ喚起するよう提示する。	
	比べ読みをして「説得力のある意見文の書き方のポイント」を学ぼう			
	3 投稿記事モデル(教材3・4)を比べ読みし,説得力のある意見文の書き方のポイントを考える。 比べ読みをする際の観点 ・構成 ・意見と根拠 ・反論に対する意見 ・文体や文末表現 ・その他	教材3 ワークシート 生徒用手引き7	ワークシート は一人3枚配布する。 投稿記事モデルは,A~Fの6種類の中から2つ選ばせ,比べ読みを3通りさせる。 比べ読みをする際の観点の一つとして,「構成の違い」を生徒用手引き7を使って説明する。	ウ-1 教材を比べ読みし,「説得力のある意見文の書き方のポイント」を見つけ出している。 【話合いの観察・ワークシートの記述分析】
	4 考えたポイントについてグループで話し合う。 5 グループで話し合ったことを報告し合う。 6 全体で協議し,ポイントをまとめる。 ・構成が分かりやすい ・立場や意見が明確 ・根拠が具体的 ・反論に対する意見など	学習計画表 学習計画表 学習計画表	個人 グループ 学級というように時間を区切って,学習形態を変えるようにする。 グループでの協議は生徒に司会を分担させ,必要に応じて支援する。	比べ読みをする際の観点の一つ一つについて,付せんの色や形の違いが,文章の何の違いになるのか具体的に考えさせる。 手引き を使って文章を比較するときの観点が具体的にどういふものかを示す。
まとめ	7 本時の学習を振り返り,比べ読みの仕方と説得力のある意見文の書き方のポイントをまとめ,学習の見通しをもつ。	学習計画表	学習計画表に,説得力のある意見文の書き方のポイントと本時の振り返りを記入させる。	ウ-1 比べ読みの仕方と説得力のある意見文の書き方のポイントについて理解し,学習の見通しをもっている。 【学習計画表の記述分析】

5 - 2 2 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 文章を読んで、相手や目的、条件に応じて表現の仕方が異なることに気付かせる。
- ・ 学習の計画を立てさせ、学習の見通しをもたせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 投稿記事モデルC、Dを例に取り上げて、同じような趣旨でも全く同じ文章にはならないことに気付かせ、どんな理由から異なっているかを考えるよう補足説明する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 目標1 同じ趣旨の文章でも書き方が異なるのはなぜか考えよう 目標2 学習計画を立てよう </div>			
展開	2 投稿記事C、D(教材3)と「モアイは語る」(教材4)を比べ読みし、相手や目的、条件に応じて書き方が異なることに気付く。	教材3 教材4	「モアイは語る」を、投稿記事C、Dを念頭に置いて比べながら読むように促す。 個人 グループ 学級というように、時間を区切って学習形態を変えることを確認させる。	エ-1 相手や目的、条件に応じて文章の形態や文章表現に違いがあることに気付いている。 【話し合いの観察】
	3 教材3と教材4の表現の違いに注目して要約や引用のポイントを確かめる。 4 学習課題を設定し、学習計画を立てる。	補助資料 補助資料 学習計画表	補助資料 を用いて引用と要約のポイントを確認させ、補足説明する。 学習計画を立てることに慣れていない生徒の場合は、一斉指導の形態で助言をしながら計画を立てさせる。 立てた計画は、生徒同士で確認をさせる。	投稿記事C、Dと「モアイは語る」の結論部分に線を引かせ、文章の目的を比較させる。また、前時に確認した比べ読みの観点を見付けさせる。
まとめ	5 本時の学習で学んだことを振り返り、次時の見通しをもつ。	学習計画表	学んだことを確認させ、学習計画表に記入させる。 次時は図書館での学習になることを予告する。	エ-1 相手や目的、条件の違いによって書き方が異なることを理解し、学習の見通しをもっている。 【学習計画表の記述分析】

5 - 3 3 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 環境問題や食糧問題などの社会生活にかかわる課題を設定させる。
- ・ 図書検索やインターネット検索を利用して必要な情報を収集させる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 教材 5	学習計画表を基に，学習の目標と流れを確認させる。 教材 5 を参照させ，検索の方法を説明する。	
社会生活にかかわる課題を設定し，検索を利用して情報を収集しよう				
展開	2 意見文を書くために行う学習活動のモデル学習をする。 3 課題を設定し，設定した課題について，十進分類表，目次，検索などを利用して情報を収集する。 ・ 課題を設定する ・ 情報を収集する	補助資料 補助資料 ワークシート ワークシート ワークシート	補助資料 に実際に引用した文章の書かれている図書を用意して提示する。 「学習を広げる」(光村図書 2 年 P 216 ~ P 223) を参照させる。 学習に取り組めない生徒には，適切な補助資料で個別指導をする。 課題についての情報の収集が十分できているか，学習の進み具合を確かめる。十分な生徒は，先に進めるように，ワークシート も配布しておく。	ア - 1 環境問題や食糧問題などの社会生活にかかわる課題を設定している。 【ワークシート の記述分析】 一週間分の新聞を概観させ，話題になっていることを課題にすることを勧める。 ア・ウ - 1 課題にかかわるキーワードを基に，検索を利用して情報を収集している。 【観察，ワークシートの記述分析】
まとめ	4 本時の学習で学んだことを振り返り，次時の見通しをもつ。	学習計画表	検索機能を利用して情報収集することができたかについて振り返りをさせる。	ア・ウ - 1 図書検索の仕方を理解し，活用できている。 【観察，学習計画表，ワークシート 記述分析】

5 - 4 4 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 意見や根拠を明確にし，反論に対する意見を用意して論を構成させる。
- ・ 頭括式，尾括式，双括式などの構成法を効果的に選択させ，分かりやすく構成させる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を基に，学習の目標と流れを確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 目標1 情報を整理して意見を作ろう 目標2 構成を工夫しよう </div>			
展開	2 収集した情報を整理し意見をもつ。	ワークシート ワークシート	情報の収集が十分でない生徒については，引き続き情報を収集させる。意見を一つに絞り込ませる。意見の根拠に必要な情報を選び取らせる。	ア・イ-1 収集した情報を整理し，意見をもとうとしている。 【ワークシート の記述分析】 イ-1 意見や根拠，反論に対する意見とその根拠を明確にしている。 【ワークシート の記述分析】 投稿記事モデルをマーカーで色分けさせ，意見や根拠の量を実感させる。
	3 自分の意見を表現するのに適切な構成法はどれか選び取り，構成を考える。	ワークシート 生徒用手引き7	生徒用手引き7を参照させ，どの構成法を用いるのか決めさせる。作業に取り組めない生徒に適切なワークシートで個別指導をする。	イ-1 適切な構成法を用いて分かりやすく構成している。 【ワークシート の記述分析】
まとめ	4 本時の学習で学んだことを振り返り，次時の見通しをもつ。	学習計画表	意見を作り，構成を考えることができたかについて，振り返りをさせる。	イ-1 意見文の構成の仕方を理解し，次時の見通しをもっている。 【ワークシート ，学習計画表の記述分析】

5 - 5 5 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 説得力のある意見文のポイントを利用して投稿記事を書かせる。
- ・ 説得力のある意見文を書くために、出だしと結びの照応や、反論に対する配慮などの効果的な工夫をさせる。
- ・ 原稿用紙の使い方を守って意見文を書かせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 補助資料	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 補助資料を参照させ、原稿用紙の使い方を確認させる。	補助資料 は光村図書『国語1』P221「原稿用紙の使い方」を印刷したもの。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>目標1 説得力のある意見文のポイントを利用して投稿記事を書こう</p> <p>目標2 原稿用紙の使い方を守って意見文を書こう</p> </div>				
展開	2 構成表(ワークシート)と説得力のある意見文のポイントを利用して投稿記事を書く。 ・ 構成が分かりやすい ・ 立場や意見が明確 ・ 根拠が具体的 ・ 反論に対する意見 ・ 相手を思いやる ・ 書き出しと結びの照応など 3 原稿用紙の使い方を確認する。	学習計画表 ワークシート ワークシート 補助資料 補助資料 国語辞典	必要な資料が手元にあるかを確認させる。 作業に取り組めない生徒には、適切なワークシートで個別指導をする。 意見文を書き上げ、さらにまた書きたいという生徒にはワークシートを複数枚渡す。 推敲(すいこう)へ進みたい生徒のために、補助資料はじめ、必要な手引きやワークシートは事前に配布しておく。	ア・イ-1 ポイント(学習計画表記載)を利用して意見文を書いている。 【ワークシートの記述分析】 ア-1 説得力のある意見文を書くために自分なりの工夫をして書いている。 【ワークシート, 学習計画表の記述分析】 投稿記事モデルを利用しながら、具体的な工夫の仕方を教える。 補助資料 は光村図書『国語1』P220「文章の推敲」を印刷したもの。
まとめ	4 本時の学習で学んだことを振り返り、意見交流して深め、自分の表現に生かす。		目標に沿って学習ができたかについて振り返りをさせる。特に、説得力のある意見文の書き方のポイント「その5」については意見を交流させる。次時は推敲、清書と進むことを確認させる。	ア・イ-1 説得力のある意見文の書き方のポイント「その5」を理解し、交流して深め、自分の表現に生かそうとしている。 【学習計画表の記述分析】

5 - 6 6 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 自分が書いた投稿記事を読んで、使用している語句や表記、および原稿用紙の使い方が適切であるか推敲(すいこう)させる。
- ・ 自分が書いた投稿記事を読んで、「説得力のある意見文のポイント」に照らして、効果的な書き方になっているか推敲させる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 補助資料	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 必要な資料がそろっているかを確認させる。	補助資料 は光村図書『国語1』P220 「文章の推敲」を印刷したもの。
	自分が書いた投稿記事を推敲して効果的な表現にしよう			
展開	2 説得力のある意見文のポイントや、手引きなどを利用して自分が書いた投稿記事(ワークシート)を推敲する。	学習計画表 補助資料 補助資料 ワークシート 国語辞典	必要な資料を手元において推敲しているかを確認する。 辞書や学習計画表などを活用していない生徒には活用を促す。 原稿用紙の使い方や推敲の仕方がよく分かっていない生徒には、補助資料を参照させる。	ア・イ-1 辞書を活用して語句や表記、原稿用紙の使い方などが適切であるか推敲している。 【観察、ワークシートの記述分析】 ア・イ-1 説得力のある意見文のポイントに照らして効果的な書き方ができているか推敲している。 【観察、ワークシートの記述分析】
	3 ワークシート に清書をする。	ワークシート	適切な漢字表記をするよう呼び掛ける。	補助資料 の推敲例の記号の書き込みを、赤ペンで実際になぞらせる。また、生徒の作品を実際に何力所か推敲してみせる。
まとめ	4 本時の学習で学んだことを振り返り、次時の見通しをもつ。		目標に沿って学習ができたかについて振り返りをさせる。 次時は相互評価をすることを知らせる。	ア・イ-1 推敲の仕方を理解し、次時の見通しをもっている。 【ワークシート , 学習計画表の記述分析】

5 - 7 7 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 投稿記事を相互評価し，文章の構成や材料の集め方などについて自分の表現に生かすことができるようにする。
- ・ 投稿記事を相互評価させ，ものの見方や考え方を広げたり深めたりさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 ワークシート 評価表	学習計画表を基に，学習の目標と流れを確認させる。 必要な資料がそろっているかを確認させる。	
	投稿記事を相互評価して助言し合おう			
展開	2 投稿記事(ワークシート)を相互評価する。 ・よい点 ・改善点	評価表 ワークシート	必要な資料を手元において相互評価しているかを確認する。 自分の書いた投稿記事を読み上げさせ，工夫したところを説明させる。 作品を回し読みさせ，よい点や改善点を評価表に記入させる。 投稿記事についてよい点や改善点を出し合わせ，認識を広げたり深めたりさせる。	ア・イ - 2 自分の書いた投稿記事について工夫したところを説明している。 【話合いでの発言内容，評価表の記述分析】
	3 グループの代表発表者を決める。		参考にした作品を選ばせる。	ア・イ - 2 友達の書いた投稿記事についてよい点を評価し，改善点を助言している。 【話合いでの発言内容，評価表の記述分析】 グループでの評価を交流させ，考え方を広げたり深めたりさせる。発言できない生徒には，評価表を交換するよう指示する。
まとめ	4 本時の学習で学んだことを振り返り，次時の見通しをもつ。	学習計画表 封筒，はがき，切手等投稿に必要なもの	ものの見方や考え方を広げたり深めたりできたかどうかを振り返らせる。 次時は，学級発表会をすることを知らせる。	ア・イ - 1 イ - 2 意見文の書き方の工夫や，評価活動の意義などを理解し，次時の見通しをもつ。 【評価表と学習計画表の記述分析】

5 - 8 8 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 投稿記事を相互評価させ、文章の構成や材料の集め方などについて自分の表現に生かすことができるようにする。
- ・ 投稿記事を相互評価させ、ものの見方や考え方を広げたり深めたりさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 ワークシート 評価表	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 必要な資料がそろっているかを確認させる。	
意見文の学級発表会をしよう				
展開	2 学級発表会を行い、グループの代表者の投稿記事（ワークシート）を評価する。 ・よい点 ・改善点 3 自分の作品が、新聞社に投稿できるものかどうか、最終の評価をする。 4 投稿に必要なはがきや封筒の準備をする。	評価表 ワークシート	必要な資料を手元において評価しているか確認する。 評価表にメモする時間を取りながら進行させる。 発表者の発表が終わって、最も参考になった作品や、発表のよかったところなどについて意見の交流を行わせる。 作品の内容が投稿しようとする新聞社に合わない場合は変更させる。 自宅にインターネットがつながっている場合には、メールによる書き込みができることを知らせる。	ア・イ - 2 友達の書いた投稿記事についてよい点を評価し、改善点を助言している。 【発言内容、評価表の記述分析】 ア・イ - 2 友達の書いた投稿記事を読んで、自分の考えを深めている。 【発言内容、評価表・学習計画表の記述分析】 学級での友達の発言をメモしたり、自分の作品に当てはめてみたりさせて、考えを深めさせる。
まとめ	5 単元の学習で学んだことを振り返り、活用する場面のイメージをもつ。（単元の学習で学んだことを学習計画表に記入する。）	学習計画表	目標に沿った学習ができたかを振り返らせる。単元の学習を振り返らせ、身に付けた力を活用する場面を想定させる。	ア - 1 学んだ力を活用できる場を想定している。 【発表会での発言内容、評価表と学習計画表の記述分析】